

坂部三樹朗、山縣良和プロデュース「東京ニューエイジ」デザイナー 村上亮太・横澤琴葉 × 浅草の革問屋 コラボレーション進行中！

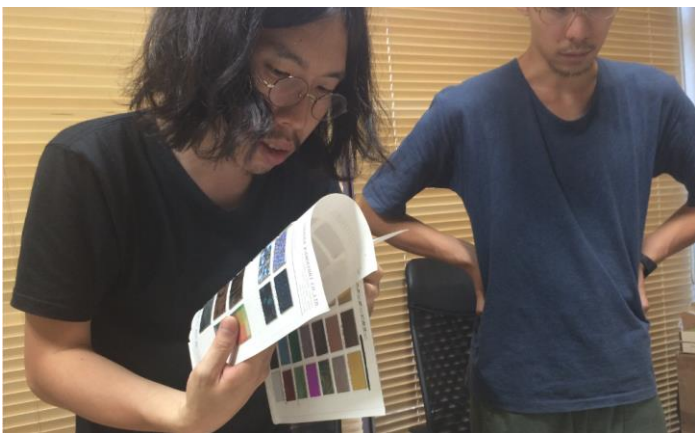
ファッションショーにて体現する日本の革の可能性

第93回東京レザーフェア 2015年12月3日（木）・4日（金）

協同組合資材連（所在地：東京都台東区、理事長：西谷秀機）は、12月3日・4日に開催を予定している、日本最大級の革のトレードショー「第93回東京レザーフェア」に向け、クリエイションの力が融合することによって、革の新たな可能性の探究を目的に、日本の誇る皮革産業と、新進気鋭の若手デザイナー集団「東京ニューエイジ」の2名のデザイナーによるコラボレーション企画を2015年6月より進めて参りました。

6月に開催した第92回東京レザーフェアでは、若手デザイナー育成のためのプロジェクト「東京ニューエイジ」のプロデューサーであり、ファッションデザイナーとして国際的にも高い評価を受ける「writtenafterwards」（リトゥンアフターワーズ）の山縣良和氏と「MIKIOSAKABE（ミキオサカベ）」の坂部三樹朗氏による日本が誇る「レザー×クリエイション」をテーマにしたトークショーを開催。人間と革との深い繋がりと、歴史が育んだ革の高い加工技術など日本が誇る巧みな職人技についてのトークを展開しました。

さらに「革」と「クリエイション」の出会いがもたらす素材としての新たな可能性の発見を目的に、第93回東京レザーフェアにて「東京ニューエイジ」のデザイナーであるRYOTA MURAKAMI（リョウタムラカミ）の村上亮太氏とkotohayokozawa（コトハヨコザワ）の横澤琴葉氏が浅草の革問屋とコラボレーションによって体現するオリジナルファッションショーの開催を発表。2015年6月以降、約3ヶ月間に渡って、デザイナー自らが浅草の革問屋を巡り革の特性について研究し、作品の製作イメージを膨らませて参りました。



RYOTA MURAKAMI / デザイナー 村上亮太氏



kotohayokozawa / デザイナー 横澤琴葉氏

今回、デザイナーとのコラボレーションが決定したのは、上質なレザーを提供する浅草の3つの革問屋、「久保柳商店」「カナメ」「富田興業」に決定。12月3日、4日の2日間に渡って開催される第93回東京レザーフェアにてファッションショーとして完成作品を披露いたします。

今回の、ジャパンレザーを使ったコラボレーションに関して、デザイナーの横澤氏は「使用する革が届いた時に、その加工の素晴らしさに感動しました。自分しかできない新しいレザーの提案をしたい。」とコメント。横澤氏とのコラボレーションが決定した富田興業代表取締役社長の富田 常一氏は「丁寧な鞣しに二次三次と加工の味つけを加えてオリジナルレザーを創りました。TOMITAの「日本産の確かな革素材」と「日々々に収まりきらない」kotohayokozawaの表現が出会い、素材がブランドになる瞬間を楽しんで頂きたい。」と語っています。

なお、同デザイナー2名は10月12日～18日の期間で開催される2016年春夏メルセデス・ベンツファッション・ウィーク 東京に参加、「東京ニューエイジ」のコレクションにて第93回東京レザーフェア内で発表する作品の一部を公開予定です。

第93回東京レザーフェアファッションショー デザインテーマ

【RYOTA MURAKAMI 作品コンセプト】

生活の中で生き場のなくなった洋服たちにスポットを当てたいという思いを軸にコレクションを制作。レザーの本来の良さを意識したアイテムや、普段のレザーでは作られる事のないアイテムなど、まさにレザーの新しい可能性やスタイルを感じてもらえるコレクション。

【コラボレーション企業】

久保柳商店

1942年に創業し、70年以上の歴史を持つ浅草の皮革問屋。牛革、ヤギ革、羊革、豚革など幅広い皮革を扱い、ファッショントレンドを意識した、カジュアルな革も多く揃う。

カナメ

長年の経験と熟練した職人によって手がけられた「信頼と技術」のしっかりと見えるオリジナルハンドメイドレザーがブランドの特徴。厳選された北米の原皮と産地にこだわった国内の原皮を使用した植物タンニンなめし革を主に扱う。

【kotohayokozawa 作品コンセプト】

現代社会を生き抜くためのほんの少しの野生心がテーマ。巧みな加工を施されたレザーを多く使用し、革の新たな一面を発見することができるコレクション。

【コラボレーション企業】

富田興業

大正12年創業。有名靴/バッグブランド や個性派のデザイナーからも高い支持 を得ており、皮革業界におけるトレンド提案も行っている。

デザイナープロフィール

東京
ニューエイジ

従来のモノサシでは測れない新感覚の若手を輩出するために山縣氏と坂部氏がプロデュースし、メルセデス・ベンツファッション・ウィーク東京などでも話題を呼んでいる若手デザイナーを生み出すプロジェクト。

■ RYOTA MURAKAMI

(リョウタムラカミ)

デザイナー 村上亮太/村上千明

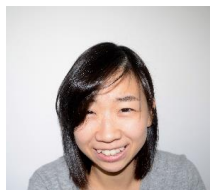


村上亮太(息子)と千明(オカン)によるファッションデザイナーデュオ。2013年渋谷PARCO絶命展で作品を発表し、その後アイドルグループでんぱ組への衣装提供、ミラノ百貨店「リナシエンテ」でのウィンドウディスプレイを担当する。インターナショナルコンペティションITS2014にてファイナリストとして作品を発表。2014年より「RYOTA MURAKAMI」として活動を始める。

■ kotohayokozawa

(コトハヨコザワ)

デザイナー 横澤琴葉



1991年名古屋市生まれ。エスモード東京校卒業後、大手アパレル会社にデザイナーとして勤務。退職後、再びエスモードAMIに通う。2015年2月ロンドンにてInternational Fashion Showcaseに参加。同年3月より「kotohayokozawa」をスタート。

「東京ニューエイジ」プロデューサープロフィール

■ writtenafterwards (リトゥンアフターワーズ) / デザイナー 山縣良和

2005年 セントラル・セントマーティンズ美術学校卒
ジョン・ガリアーノのデザインアシスタントを務めた後帰国
2007年 自身のブランド「リトゥンアフターワーズ」を設立
2009年 春夏より東京コレクションに参加する
2009年 アーネム・モード・ビエンナーレ(オランダ)の
オープニングショーを務める
2012年 日本ファッション・エディターズ・クラブ賞新人賞を受賞
皮革と職人の街・浅草にある若手デザイナーの創業支援施設
「台東デザイナーズビレッジ」の卒業生でもあり日本人として
初めてモエ ヘネシー・ルイ ヴィトングループによる
ファッションコンテスト「LVMHプライズ」にもノミネート。



■ MIKIOSAKABE (ミキオサカベ) / デザイナー 坂部三樹郎

2006年 アントワープ王立芸術アカデミー
ファッション科マスターコース卒(主席)
2007年 シュエ・ジェンファンと「ミキオサカベ」を立ち上げる
2007年-08年 秋冬プレゼンレーションでパリコレクション公式参加
2008年 春夏以降は、東京とパリを軸にミラノ、ニューヨーク、
バルセロナなどの都市でコレクションを発表

現代アートのChim ↑ Pomや秋葉原系アイドルのでんぱ組.incとも
コラボレート新しいジェンダーを提案するエモーショナルな服を
東京から世界に向けて発信している。



第93回東京レザーフェア開催概要

会 期 2015年12月3日(木)
2015年12月4日(金)

※受付にてご登録をいただければ、どなたでも無料でご入場いただけます。

会 場 都立産業貿易センター 台東館 〒111-0033 東京都台東区花川戸 2-6-5
主 催 協同組合資材連 東京都台東区浅草6-20-6 (聖天会館) TEL: 03-3873-6564
共 催 東京都
後 援 経済産業省・台東区・(一社)日本皮革産業連合会
協 賛 リネアペッレ

本プレスリリースに関するお問い合わせ先

東京レザーフェアPR事務局 TEL:03-6323-2952 (株式会社ネットワークコミュニケーションズ内)
担当: 小島 (reimi@nwcom.jp/080-4189-3318)、未政 (aya@nwcom.jp)